

● ニーズに応え、安全・安心のモノづくり



株式会社フジカイ

代表取締役社長 生田 芳規

日本経済は好調な輸出や設備投資に支えられ昨年末には「いざなぎ景気」をも上回りました。景気拡大の裏にはバブル崩壊後の逆境を乗り越えてきた企業の厳しい決断と並々ならぬ努力があったからこそと思います。ただ、景気拡大期間は長くても過去の大型景気に比べ経済成長率が低く、企業においても体感温度に差が出ているのが実状です。激変する社会に安息はありません。環境の変化を的確に読む目を持ち、柔軟に対応できる企業体質を備え、変化に即応していくことが企業成長と勝ち残りのためには必要です。

フジカイは昨年創業 60 周年を迎えました。キャラメル包装機の開発を皮切りに食品、薬品、雑貨、工業部品など幅広い商品の包装機械、包装システムを手がけてまいりました。包装に求められる基本機能は ①品質の保護・保全 ②物品の利便性・流通の容易性 ③情報の伝達・販売促進の 3 つに要約されます。特に消費者包装では商品の変質防止が第一です。包装によって品質が保持され消費者に安心、安全を届けることが不可欠です。包装機械の開発に当たり、包装に求められる基本機能を考慮しつつ、省力化、高速化、兼用性、環境への配慮などお客様の様々なニーズにお応えし、安全で安心してお使いいただける機械の開発を行っております。お客様と二人三脚で開発に取り組むことも少なくありません。高度化し複雑化するお客様のニーズを具現化していくためには、経験を礎に蓄積され

てきた技術と最新の技術の組合せが必要となっています。蓄積された技術を如何にして伝えていくか、“モノづくり”においてノウハウの伝承は重要です。特に暗黙知を如何に伝承するかが課題であり、取り組んでいるところです。

さて昨年 4 月、私が会長を務めております中部包装食品機械工業会主催による「2006 中部パック」がポートメッセなごやにて開催されました。「中部に集う食と包装の先端技術」をテーマに、包装機械をはじめ食品機械、物流機器など幅広い機械、システム、包装資材、情報などが展示され、関係者の皆様に高い評価をいただきました。「中部パック」は、1979 年に第 1 回名古屋包装食品機械展（1986 年に正式名称を「中部パック」に改変）を開催して以来 15 回をかぞえ、今日では中部地区最大規模の展示会として地域社会や業界に定着し、その時々々の社会の要請とおお客様のニーズに応じてまいりました。皆様のご理解とご支援を賜わり開催してきました「中部パック」は、次に向けて既に準備を進めております。2008 年 4 月 9 日より 4 日間、「食と包装ものづくり、元気な中部が提案します」をテーマにポートメッセなごやにて開催いたします。食の安全が問われる中、作業環境や衛生管理などを考慮した設備提案をはじめ、伝統技術と最新の技術の融合によるシステム、機器、資材などが展示されますので是非ご期待下さい。